

平成25年度上期の  
生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと  
当面する課題について

平成25年5月22日  
一般社団法人Jミルク

# 1. 地域別生乳生産量の動向

## 【生乳生産量予測の前提】

- ・都府県及び全国の予測値は、指定団体ブロック別の生乳生産量予測値を合算して算出。
- ・指定団体ブロック別の予測値は、過去の生乳生産量実績データの動向パターンに基づく、気温や乳牛頭数等を組み込んだ予測モデル (ARIMA モデル) による推計値を基本に算出。
- ・平成 25 年度の気温は、平年並で設定している。

表 1-1：平成 24 年度 地域別生乳生産量（実績）

	全 国		北海道		都府県	
	前年比	前年比	前年比	前年比		
4 月	649	103.3%	325	100.6%	324	106.0%
5 月	671	101.4%	340	101.0%	332	101.9%
6 月	642	102.1%	331	101.0%	311	103.4%
7 月	644	103.3%	338	102.3%	306	104.4%
8 月	630	102.5%	334	102.4%	296	102.6%
9 月	604	101.6%	318	101.6%	286	101.5%
10 月	628	101.3%	329	102.0%	299	100.4%
11 月	604	100.3%	314	101.0%	291	99.6%
12 月	632	99.8%	328	100.7%	304	98.7%
1 月	644	99.7%	332	100.3%	312	99.2%
2 月	595	96.8%	306	97.7%	289	95.9%
3 月	664	99.7%	337	100.4%	328	99.0%
第 1 四半期	1,963	102.3%	996	100.9%	966	103.7%
第 2 四半期	1,878	102.4%	989	102.1%	888	102.9%
第 3 四半期	1,864	100.4%	970	101.3%	894	99.6%
第 4 四半期	1,903	98.8%	975	99.5%	928	98.1%
上期	3,841	102.4%	1,986	101.5%	1,855	103.3%
下期	3,767	99.6%	1,945	100.4%	1,822	98.8%
年度計	7,607	101.0%	3,931	100.9%	3,677	101.0%
閏年修正後						
年度計	7,607	101.3%	3,931	101.2%	3,677	101.3%

表 1-2：平成 25 年度上期 地域別生乳生産量（見通し）

	全 国		北海道		都府県	
	前年比	前年比	前年比	前年比		
4 月	651	100.2%	329	101.1%	322	99.3%
5 月	674	100.5%	345	101.7%	329	99.2%
6 月	644	100.4%	338	102.1%	306	98.5%
7 月	638	99.0%	341	100.9%	297	96.9%
8 月	619	98.3%	335	100.4%	284	96.0%
9 月	600	99.3%	324	101.8%	276	96.6%
第 1 四半期	1,969	100.3%	1,013	101.6%	957	99.0%
第 2 四半期	1,857	98.9%	1,000	101.0%	857	96.5%
上期	3,826	99.6%	2,012	101.3%	1,814	97.8%

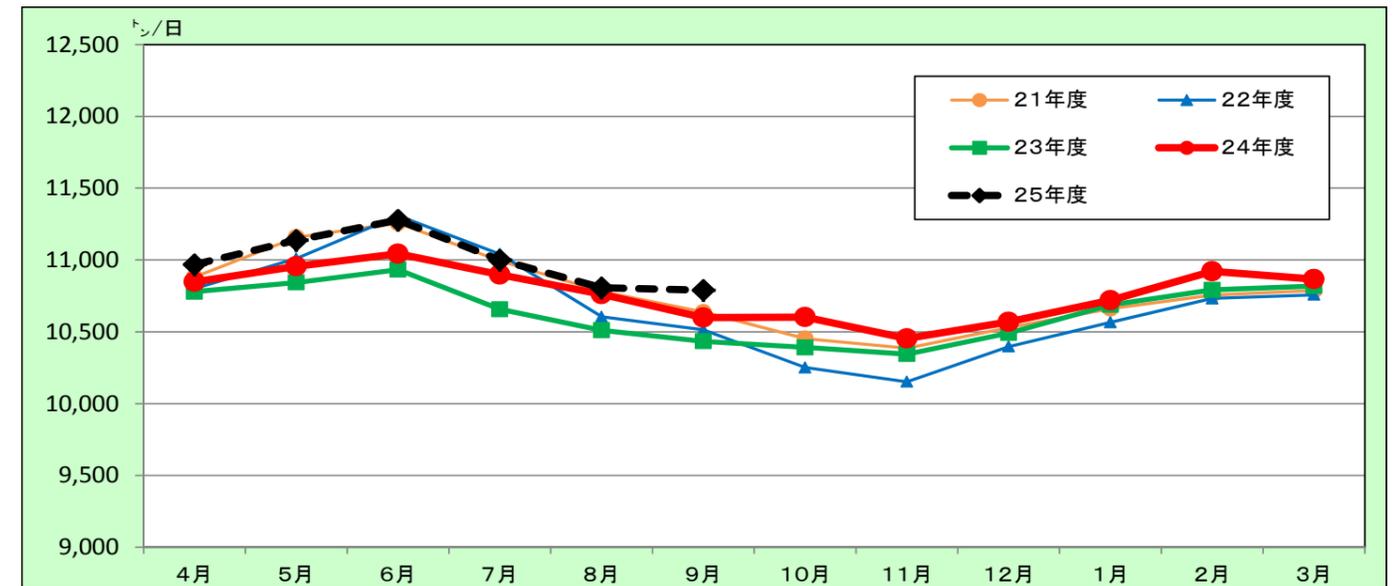
## 【生乳生産量の見通し】

25 年度上期においては、北海道では引き続き前年度を上回って推移、一方、都府県では前年度を下回って推移するものと見込まれる。その結果、全国では第 1 四半期は前年度をやや上回るものの、第 2 四半期は前年度を下回ると見込まれる。

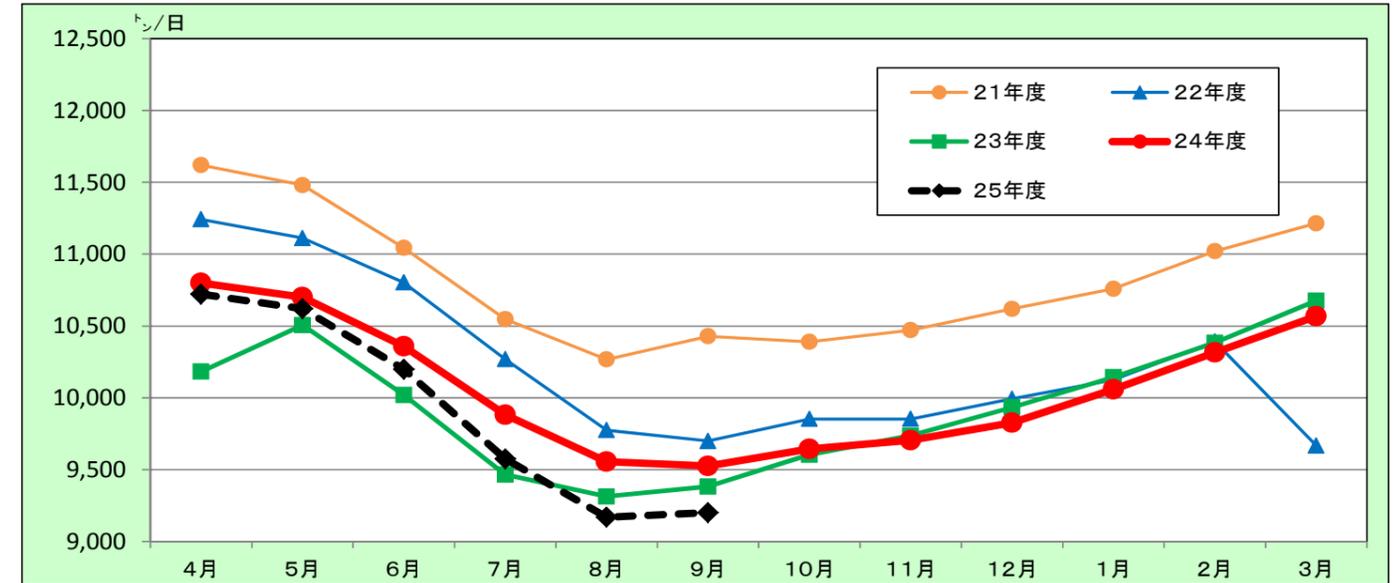
なお、前回 1 月公表時の予測との差異（上期計）は下記のとおり。

- 「全国」：▲12 千 t（前年比 ▲0.3%）、
- 「北海道」：▲5 千 t（前年比 ▲0.2%）、
- 「都府県」：▲7 千 t（前年比 ▲0.4%）

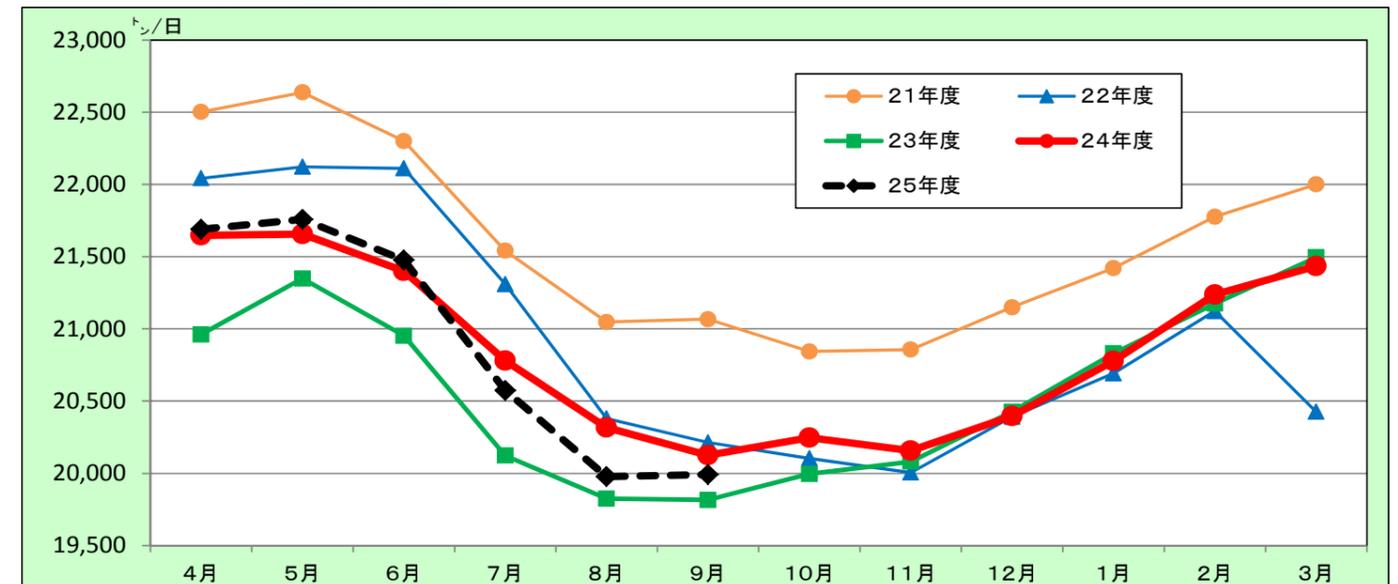
グラフ 1-1：北海道の生産量（日均量）



グラフ 1-2：都府県の生産量（日均量）



グラフ 1-3：全国の生産量（日均量）



## 2. 牛乳等生産量の動向

### 【牛乳等生産量予測の前提】

- ・各々の予測値は、過去の生産量実績データの動向パターンに基づく、気温や平日日数等を組み込んだ予測モデル(ARIMA モデル)による推計値を基本に算出。
- ・平成25年度の気温は、平年並で設定している。

表2-1：平成24年度 牛乳等生産量（実績）

	牛乳類		牛乳		加工乳		成分調整牛乳		乳飲料		はっ酵乳	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4月	396	98.6%	247	97.4%	13	71.1%	30	106.2%	105	104.5%	85	124.8%
5月	424	98.4%	264	97.8%	13	79.7%	32	96.5%	114	103.0%	89	124.1%
6月	423	97.9%	264	97.5%	11	71.0%	31	93.2%	117	104.1%	86	110.2%
7月	434	99.3%	263	100.3%	12	68.6%	33	93.8%	126	103.0%	86	112.7%
8月	420	99.2%	244	99.2%	11	69.3%	34	93.4%	130	104.8%	83	112.5%
9月	443	99.4%	274	100.9%	11	69.5%	32	93.3%	125	101.8%	84	110.7%
10月	444	101.6%	275	101.0%	12	77.4%	31	93.1%	127	108.5%	83	110.5%
11月	399	97.7%	256	98.9%	11	74.3%	28	91.7%	104	99.9%	76	106.5%
12月	381	98.5%	244	100.2%	12	77.2%	27	91.0%	97	100.1%	73	109.1%
1月	381	98.2%	243	98.6%	11	77.9%	28	90.9%	99	102.6%	78	106.5%
2月	360	95.2%	232	94.0%	10	74.2%	25	88.4%	93	103.9%	76	94.2%
3月	388	100.0%	240	99.0%	11	78.1%	28	92.8%	108	108.0%	90	104.8%
第1四半期	1,242	98.3%	775	97.6%	38	73.9%	93	98.3%	336	103.8%	260	119.3%
第2四半期	1,297	99.3%	782	100.2%	35	69.1%	99	93.5%	381	103.2%	253	112.0%
第3四半期	1,224	99.3%	775	100.0%	36	76.3%	86	92.0%	328	103.1%	232	108.8%
第4四半期	1,130	97.8%	716	97.2%	32	76.8%	81	90.8%	301	104.9%	243	101.8%
上期	2,539	98.8%	1,557	98.9%	72	71.5%	192	95.8%	717	103.5%	513	115.6%
下期	2,354	98.6%	1,491	98.6%	68	76.5%	167	91.4%	628	104.0%	475	105.1%
年度計	4,892	98.7%	3,047	98.8%	140	73.9%	359	93.7%	1,345	103.7%	988	110.3%
閏年修正後												
年度計	4,892	99.0%	3,047	99.0%	140	74.0%	359	93.9%	1,345	104.0%	988	110.6%

表2-2：平成25年度上期 牛乳等生産量（見通し）

	牛乳類		牛乳		加工乳		成分調整牛乳		乳飲料		はっ酵乳	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4月	394	99.7%	245	99.0%	11	83.0%	28	93.4%	110	105.0%	90	106.3%
5月	421	99.5%	263	99.6%	11	85.5%	30	93.6%	117	102.5%	93	104.9%
6月	423	100.1%	264	100.2%	11	98.6%	30	96.7%	118	100.7%	92	107.2%
7月	430	99.1%	261	99.4%	12	101.7%	32	96.1%	125	99.1%	93	107.9%
8月	412	98.3%	241	98.8%	12	105.1%	32	96.1%	127	97.3%	89	106.9%
9月	437	98.6%	269	98.2%	12	103.1%	31	96.6%	124	99.5%	88	105.6%
第1四半期	1,239	99.7%	772	99.6%	34	88.5%	88	94.6%	344	102.6%	276	106.1%
第2四半期	1,279	98.7%	772	98.8%	36	103.3%	95	96.2%	376	98.6%	270	106.8%
上期	2,518	99.2%	1,545	99.2%	69	95.6%	183	95.4%	721	100.5%	546	106.5%

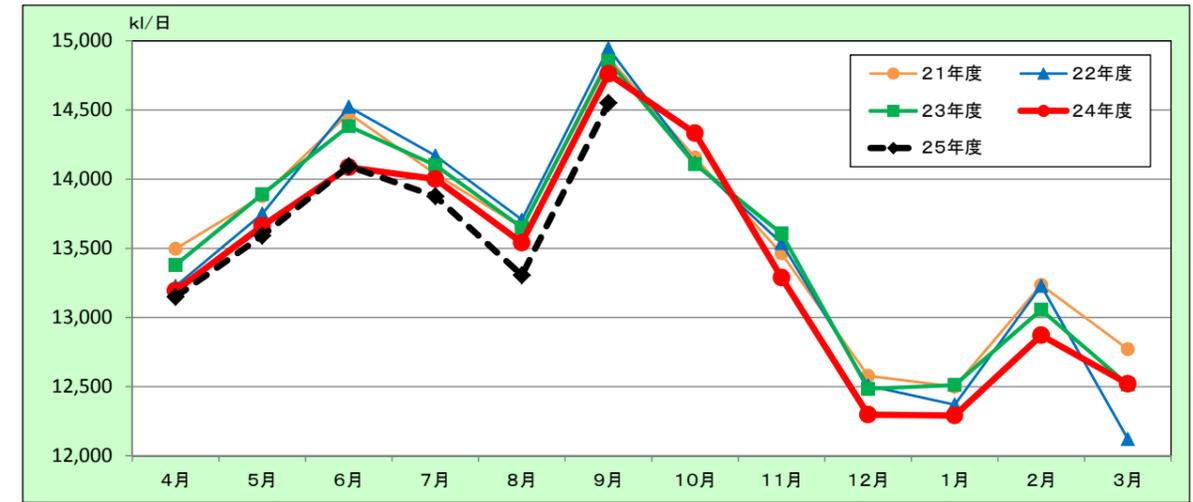
### 【牛乳等生産量の見通し】

25年度上期においては、「牛乳」は前年度と同程度かやや下回る程度で堅調に推移、「乳飲料」も比較的堅調に推移するものと見込まれる。「はっ酵乳」は今後も24年度を上回って好調に推移するものと見込まれる。

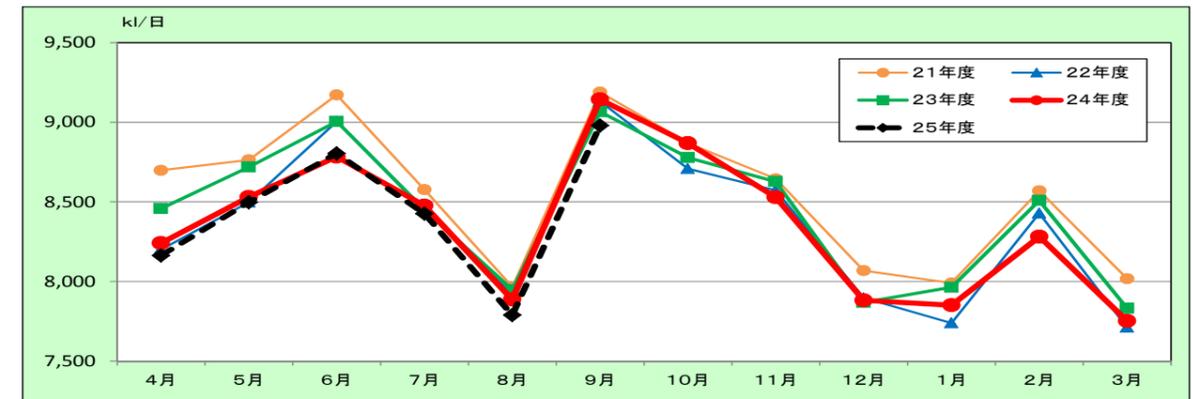
なお、前回1月公表時の予測との差異（上期計）は下記のとおり。

- 「牛乳類」：+10千k1（前年比 +0.3%）、
- 「牛乳」：+2千k1（前年比 +0.1%）、
- 「加工乳」：▲3千k1（前年比 ▲4.3%）、
- 「成分調整牛乳」：▲6千k1（前年比 ▲3.1%）、
- 「乳飲料」：+18千k1（前年比 +2.1%）、
- 「はっ酵乳」：+16千k1（前年比 +3.5%）

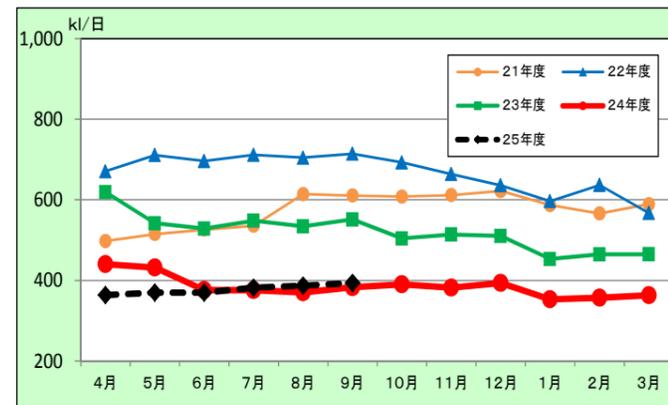
グラフ2-1：牛乳類（牛乳・加工乳・成分調整牛乳・乳飲料）の生産量（日均量）



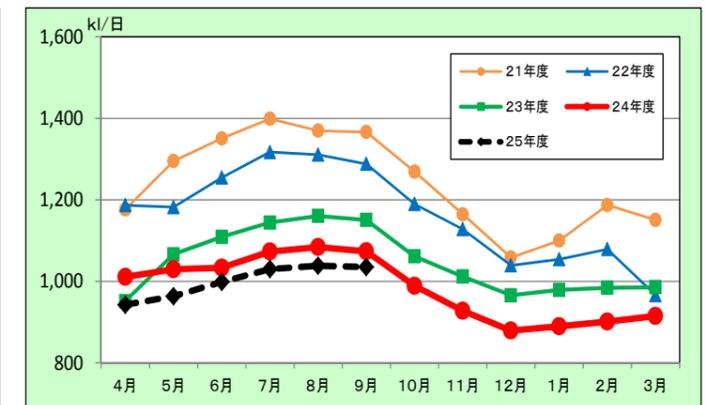
グラフ2-2：牛乳の生産量（日均量）



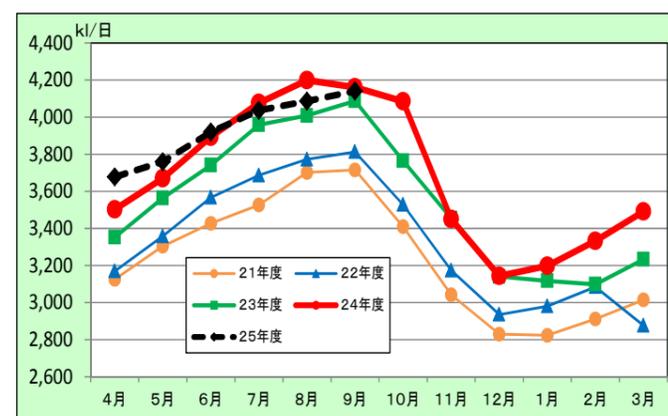
グラフ2-3：加工乳の生産量（日均量）



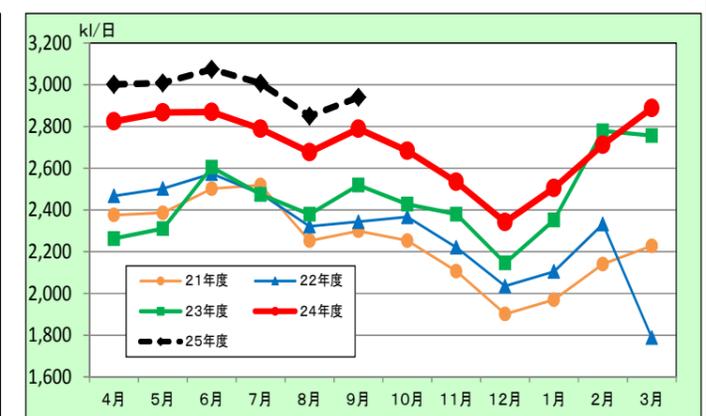
グラフ2-4：成分調整牛乳の生産量（日均量）



グラフ2-5：乳飲料の生産量（日均量）



グラフ2-6：はっ酵乳の生産量（日均量）



### 3. 用途別処理量の動向

#### 【用途別処理量予測の前提】

- ・生乳供給量は、生乳生産量から自家消費量を差し引いて算出(自家消費量は、各地域の直近までの動向を踏まえ設定)。
- ・牛乳等向処理量は、牛乳、加工乳、成分調整牛乳、乳飲料、はっ酵乳の予測生産量を基に、生乳使用率、比重(1.032)及び歩留まり(99.5%)を勘案して算出。
- ・乳製品向処理量は、生乳供給量と牛乳等向処理量の差。

表3-1：平成24年度 生乳供給量及び用途別処理量(実績)

(千トン)

	生乳生産量		自家消費量		生乳供給量		牛乳等向		乳製品向	
		前年比								
4月	649	103.3%	5	89.6%	645	103.4%	328	97.7%	317	110.0%
5月	671	101.4%	5	89.1%	667	101.5%	351	97.8%	316	106.0%
6月	642	102.1%	5	92.5%	637	102.2%	351	99.8%	286	105.3%
7月	644	103.3%	5	89.1%	639	103.4%	348	97.3%	291	111.8%
8月	630	102.5%	5	87.5%	625	102.6%	332	98.1%	293	108.2%
9月	604	101.6%	5	84.8%	599	101.7%	361	100.5%	238	103.6%
10月	628	101.3%	5	88.4%	623	101.4%	357	101.3%	266	101.5%
11月	604	100.3%	5	97.1%	600	100.4%	329	97.6%	271	103.9%
12月	632	99.8%	5	91.5%	627	99.8%	312	98.4%	315	101.3%
1月	644	99.7%	5	101.6%	639	99.7%	321	98.5%	319	101.0%
2月	595	96.8%	5	101.9%	590	96.8%	301	93.2%	289	100.9%
3月	664	99.7%	5	96.6%	660	99.7%	321	98.0%	339	101.4%
第1四半期	1,963	102.3%	15	90.4%	1,948	102.4%	1,030	98.5%	918	107.1%
第2四半期	1,878	102.4%	15	87.1%	1,863	102.6%	1,041	98.6%	822	108.1%
第3四半期	1,864	100.4%	15	92.2%	1,849	100.5%	997	99.1%	852	102.2%
第4四半期	1,903	98.8%	14	100.0%	1,889	98.8%	942	96.6%	946	101.1%
上期	3,841	102.4%	29	88.7%	3,811	102.5%	2,071	98.6%	1,740	107.6%
下期	3,767	99.6%	29	95.9%	3,738	99.6%	1,940	97.9%	1,798	101.6%
年度計	7,607	101.0%	59	92.2%	7,549	101.1%	4,011	98.2%	3,538	104.5%
閏年修正後										
年度計	7,607	101.3%	59	92.4%	7,549	101.3%	4,011	98.5%	3,538	104.8%

表3-2：平成25年度上期 生乳供給量及び用途別処理量(見通し)

(千トン)

	生乳生産量		自家消費量		生乳供給量		牛乳等向		乳製品向	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
4月	651	100.2%	5	100.1%	646	100.2%	324	98.8%	322	101.7%
5月	674	100.5%	5	100.4%	670	100.5%	346	98.7%	323	102.4%
6月	644	100.4%	5	100.3%	639	100.4%	350	99.6%	289	101.2%
7月	638	99.0%	5	98.9%	633	99.0%	344	98.8%	289	99.3%
8月	619	98.3%	5	98.1%	614	98.3%	326	98.1%	289	98.6%
9月	600	99.3%	5	99.2%	595	99.3%	353	97.9%	242	101.6%
第1四半期	1,969	100.3%	15	100.3%	1,955	100.3%	1,020	99.1%	935	101.8%
第2四半期	1,857	98.9%	14	98.8%	1,842	98.9%	1,023	98.2%	819	99.7%
上期	3,826	99.6%	29	99.5%	3,797	99.6%	2,043	98.6%	1,754	100.8%

#### 【用途別処理量の見通し】

25年度上期においては、牛乳等向処理量は前年度を下回って推移するものと見込まれる。乳製品向処理量は、生乳供給量が第2四半期に前年度を下回ると見込まれることから、第2四半期では前年度を下回って推移するものと見込まれる。

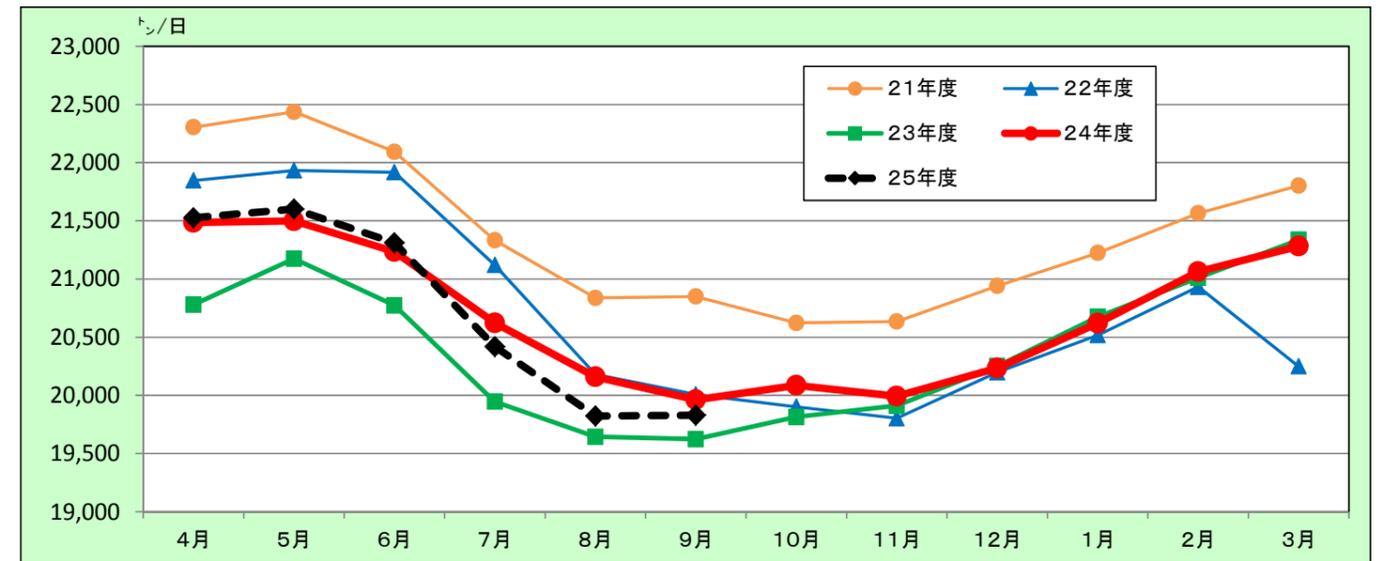
なお、前回1月公表時の予測との差異(上期計)は下記のとおり。

「生乳供給量」：▲12千t(前年比 ▲0.3%)、

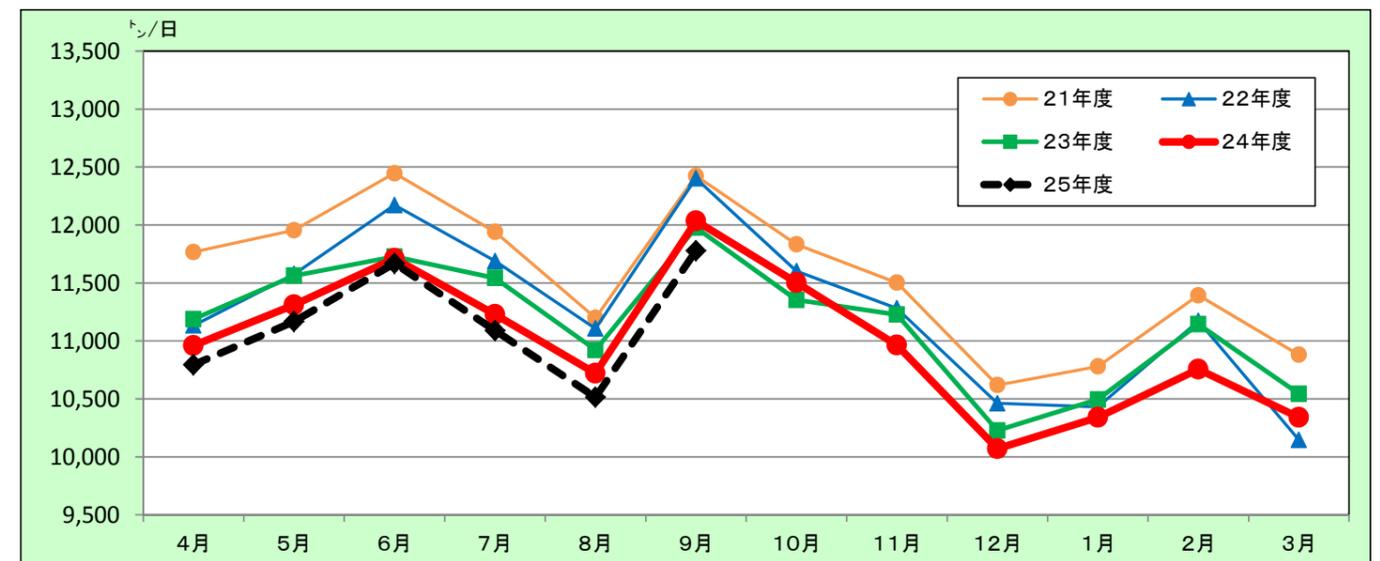
「牛乳等向処理量」：▲15千トン(前年比 ▲0.7%)、

「乳製品向処理量」：+3千t(前年比 +0.1%)

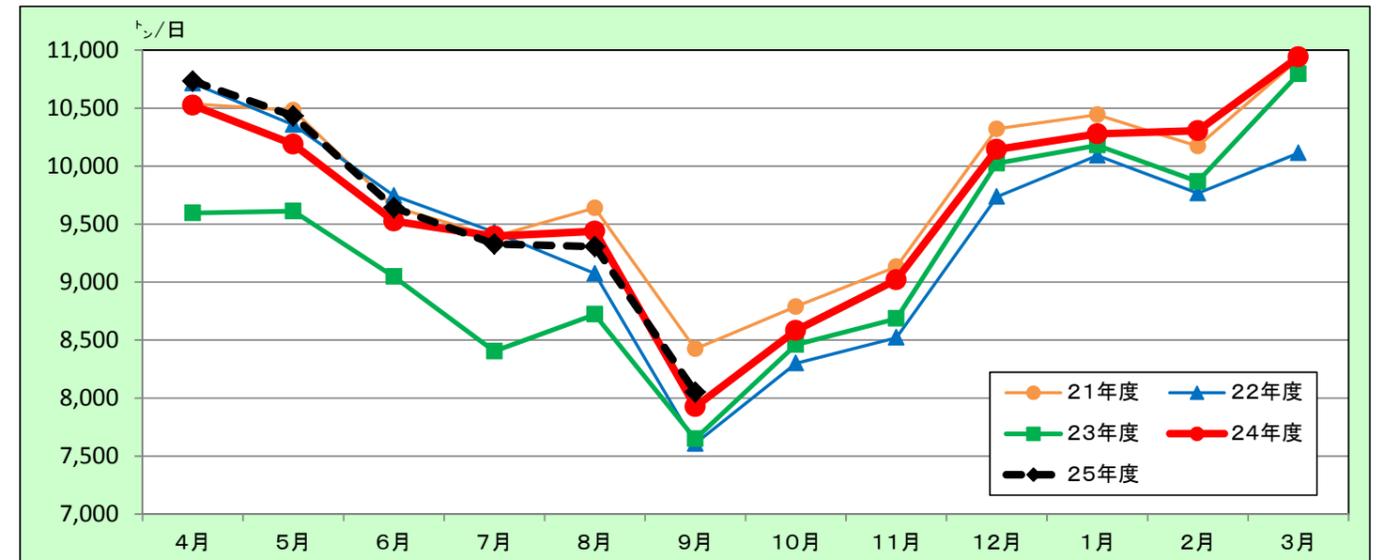
グラフ3-1：生乳供給量(日均量)



グラフ3-2：牛乳等向生乳処理量(日均量)



グラフ3-3：乳製品等向生乳処理量(日均量)



#### 4. 都府県の生乳需給の動向

##### 【都府県生乳需給予測の前提】

- ・「特定乳製品(脱脂粉乳・バター等)向処理量」は、「過不足(A-B-C)」+「移入量」-「移出量」で算出。
- ・「移入量」は、下記2点の基本的考え方に基づき設定。
  - ① 都府県で製造する北海道ブランド牛乳のために、必要な移入量は必ず発生するものとして設定。
  - ② 生乳需給上、ある程度の特定乳製品向処理量は必ず発生するものとして設定。

表4-1：平成24年度 都府県の生乳需給（実績）

	生乳供給量		牛乳等向処理量		その他乳製品向処理量		過不足 A-B-C	移入量 (道外移出量)		移出量	特定乳製品向処理量	
	A	前年比	B	前年比	C	前年比		前年比	前年比			
	4月	322	106.2%	284	96.8%	16		112.6%	22		20	76.1%
5月	329	101.9%	305	97.2%	14	97.6%	11	22	77.6%	0	32	138.0%
6月	308	103.4%	305	99.5%	14	105.8%	-11	29	81.1%		18	129.0%
7月	304	104.5%	301	97.5%	15	111.7%	-12	32	74.0%		20	164.1%
8月	294	102.7%	285	98.9%	16	118.6%	-8	31	90.8%		23	129.4%
9月	283	101.6%	313	100.7%	14	101.8%	-44	51	95.6%		7	99.2%
10月	296	100.5%	309	101.6%	16	104.7%	-29	40	104.7%		11	83.1%
11月	288	99.6%	285	98.0%	15	96.8%	-12	27	90.7%		15	118.1%
12月	301	98.7%	269	98.6%	17	96.9%	16	21	100.4%	0	37	100.8%
1月	309	99.1%	279	98.7%	14	97.1%	16	20	94.4%	0	36	100.4%
2月	286	95.9%	262	93.4%	13	93.3%	12	19	89.4%	0	31	118.2%
3月	325	99.0%	276	97.9%	15	94.6%	34	18	93.2%	1	51	103.9%
第1四半期	959	103.8%	894	97.8%	44	105.2%	21	71	78.5%	0	92	155.9%
第2四半期	881	103.0%	900	99.0%	46	110.6%	-64	114	87.1%		50	135.0%
第3四半期	886	99.6%	864	99.4%	48	99.3%	-25	88	99.0%	0	63	100.5%
第4四半期	921	98.0%	817	96.7%	42	95.0%	62	57	92.3%	1	119	106.2%
上期	1,840	103.4%	1,793	98.4%	90	107.8%	-43	186	83.6%	0	142	147.8%
下期	1,807	98.8%	1,680	98.1%	90	97.2%	37	146	96.2%	1	182	104.1%
年度計	3,647	101.1%	3,474	98.3%	180	102.3%	-6	331	88.7%	1	324	119.6%

表4-2：平成25年度上期 都府県の生乳需給（見通し）

	生乳供給量		牛乳等向処理量		その他乳製品向処理量		過不足 A-B-C	移入量 (道外移出量)		移出量	特定乳製品向処理量	
	A	前年比	B	前年比	C	前年比		前年比	前年比			
	4月	319	99.3%	280	98.5%	15		98.6%	24		20	97.9%
5月	327	99.2%	300	98.4%	14	98.7%	13	22	100.1%		35	108.8%
6月	304	98.5%	303	99.4%	14	98.8%	-14	30	103.3%		16	90.9%
7月	294	96.9%	295	98.1%	15	98.8%	-16	32	99.1%		16	80.4%
8月	282	96.0%	278	97.4%	16	98.8%	-12	32	105.1%		20	88.8%
9月	274	96.6%	304	97.2%	14	98.8%	-45	52	101.4%		7	100.0%
第1四半期	950	99.0%	883	98.8%	44	98.7%	23	72	100.8%		95	103.2%
第2四半期	850	96.5%	878	97.6%	45	98.8%	-73	116	101.7%		44	87.0%
上期	1,800	97.8%	1,760	98.2%	89	98.7%	-49	188	101.4%		139	97.5%

##### 【都府県の生乳需給の見通し】

25年度上期においては、都府県における生乳供給量が前年度を下回って推移すると見込まれることから、北海道からの生乳移入量（道外移出量）は、前年度をやや上回る水準で推移するものと見込まれる。また、特定乳製品向処理量は、夏季に向けては前年度を下回って推移するものと見込まれる。

#### 5. 特定乳製品需給の動向

##### 【特定乳製品(脱脂粉乳・バター等)需給予測の前提】

- ・特定乳製品向処理見込数量は、乳製品向処理量からその他乳製品(生クリーム等・チーズ)向処理見込数量を差し引いて算出。
- ・脱脂粉乳・バターの生産量は、特定乳製品向処理見込数量に製造係数(直近の動向等を反映した数値)を乗じて算出。
- ・脱脂粉乳・バターの消費量は、過去の実績データの動向パターンに基づく、価格や代替関係にある乳製品の処理見込数量等を変数に組み込んだ予測モデル(ARIMAモデル)による推計値を基本に算出。
- ・乳製品の在庫月数は、当該月の在庫量を前年度の一ヶ月平均の消費量で割ることで算出している。

表5-1：平成24年度 脱脂粉乳の需給（実績）

	生産量		輸入 売渡し	消費量		過不足 A+B-C	月末在庫量		
	A	前年比		C	前年比		月数	前年比	
	4月	13.3		106.7%			12.7	98.3%	0.5
5月	12.6	99.1%		12.5	98.8%	0.1	48.2	4.0	82.9%
6月	10.4	98.5%		11.5	81.8%	-1.1	47.1	3.9	86.1%
7月	10.4	119.8%		12.6	96.7%	-2.2	44.9	3.7	89.2%
8月	10.6	113.0%		12.4	97.9%	-1.7	43.2	3.5	91.6%
9月	7.7	97.8%		11.1	92.1%	-3.4	39.7	3.3	92.6%
10月	9.3	97.0%		12.3	102.3%	-3.0	36.7	3.0	90.8%
11月	10.5	101.5%		10.6	90.5%	-0.0	36.6	3.0	93.7%
12月	14.7	103.4%		11.1	96.4%	3.6	40.3	3.3	96.3%
1月	14.5	103.5%		9.5	95.8%	5.0	45.3	3.7	98.6%
2月	12.5	110.4%		11.1	102.9%	1.4	46.7	3.8	100.5%
3月	14.9	108.5%		12.1	96.3%	2.8	49.5	4.1	103.9%
第1四半期	36.2	101.6%		36.7	92.6%	-0.5	47.1	3.9	86.1%
第2四半期	28.8	110.7%		36.1	95.6%	-7.4	39.7	3.3	92.6%
第3四半期	34.6	101.0%		34.0	96.4%	0.5	40.3	3.3	96.3%
第4四半期	41.9	107.3%		32.7	98.3%	9.2	49.5	4.1	103.9%
上期	65.0	105.4%		72.9	94.1%	-7.9	39.7	3.3	92.6%
下期	76.4	104.3%		66.7	97.3%	9.7	49.5	4.1	103.9%
年度計	141.4	104.8%		139.6	95.6%	1.8	49.5	4.1	103.9%

表5-2：平成25年度上期 脱脂粉乳の需給（見通し）

	生産量		輸入 売渡し	消費量		過不足 A+B-C	月末在庫量		
	A	前年比		C	前年比		月数	前年比	
	4月	13.5		101.4%	0.2		12.7	99.6%	1.0
5月	12.9	102.7%	3.4	12.2	97.2%	4.2	54.6	4.7	113.3%
6月	10.4	100.4%	0.8	12.2	106.2%	-1.0	53.6	4.6	113.8%
7月	10.0	96.3%	0.5	13.0	103.2%	-2.5	51.1	4.4	113.9%
8月	10.1	94.9%	0.1	12.2	98.5%	-2.0	49.1	4.2	113.8%
9月	7.8	101.4%		12.0	107.3%	-4.2	45.0	3.9	113.2%
第1四半期	36.8	101.6%	4.4	37.1	100.9%	4.2	53.6	4.6	113.8%
第2四半期	27.9	97.2%	0.6	37.2	102.8%	-8.7	45.0	3.9	113.2%
上期	64.7	99.6%	5.0	74.2	101.8%	-4.5	45.0	3.9	113.2%

表6-1：平成24年度 バターの需給（実績）

(千トン)

	生産量		輸入 売渡し	消費量		過不足 A+B-C	月末在庫量		
	A	前年比		C	前年比		月数	前年比	
4月	6.7	119.1%		6.4	92.1%	0.4	19.4	3.0	100.5%
5月	6.5	110.7%	1.3	6.3	93.5%	1.4	20.9	3.2	100.7%
6月	5.5	110.9%	1.9	6.8	98.1%	0.6	21.5	3.3	101.1%
7月	5.4	126.3%	0.7	6.2	84.3%	-0.0	21.5	3.3	102.5%
8月	5.6	124.8%	0.9	6.0	95.0%	0.6	22.0	3.4	105.1%
9月	3.7	107.0%	2.3	5.8	78.2%	0.2	22.3	3.4	109.4%
10月	4.3	103.1%	0.2	5.6	80.9%	-1.0	21.2	3.3	107.8%
11月	4.8	115.5%	1.8	7.4	100.2%	-0.7	20.5	3.1	110.2%
12月	6.2	106.9%	0.2	7.8	99.2%	-1.4	19.0	2.9	115.3%
1月	7.6	109.0%		4.8	105.0%	2.8	21.9	3.4	115.6%
2月	6.3	109.1%		6.0	103.3%	0.3	22.2	3.4	117.4%
3月	7.4	99.8%		6.1	84.5%	1.3	23.5	3.6	123.0%
第1四半期	18.8	113.6%	3.2	19.5	94.6%	2.4	21.5	3.3	101.1%
第2四半期	14.7	120.3%	4.0	17.9	100.6%	0.8	22.3	3.4	109.4%
第3四半期	15.4	108.3%	2.2	20.8	93.9%	-3.2	19.0	2.9	115.3%
第4四半期	21.2	105.6%		16.8	96.0%	4.4	23.5	3.6	123.0%
上期	33.5	116.5%	7.2	37.5	97.4%	3.2	22.3	3.4	109.4%
下期	36.6	106.7%	2.2	37.6	94.8%	1.2	23.5	3.6	123.0%
年度計	70.1	111.2%	9.4	75.1	96.1%	4.4	23.5	3.6	123.0%

表6-2：平成25年度上期 バターの需給（見通し）

(千トン)

	生産量		輸入 売渡し	消費量		過不足 A+B-C	月末在庫量		
	A	前年比		C	前年比		月数	前年比	
4月	7.0	104.4%		6.5	101.7%	0.5	24.0	3.8	123.5%
5月	6.9	105.8%		5.7	90.0%	1.2	25.2	4.0	120.6%
6月	5.7	103.4%		5.8	85.7%	-0.1	25.0	4.0	116.6%
7月	5.4	99.2%		6.0	98.1%	-0.7	24.4	3.9	113.5%
8月	5.5	97.7%		5.8	96.7%	-0.3	24.1	3.9	109.3%
9月	3.9	104.5%		5.9	101.1%	-2.0	22.1	3.5	99.3%
第1四半期	19.6	104.6%		18.0	92.3%	1.6	25.0	4.0	116.6%
第2四半期	14.7	100.0%		17.7	98.6%	-3.0	22.1	3.5	99.3%
上期	34.4	102.5%		35.7	95.3%	-1.4	22.1	3.5	99.3%

※24年度の「消費量」は、輸入売渡しに係る乳業外流通在庫等も当該月の消費量にカウントされた数値となっており、24年度上半期においては実際の消費量より過大に評価していると考えられる。25年度の「消費量」の対前年比はこの数値を基に算出しており、計算上、実態よりやや低めとなっている。

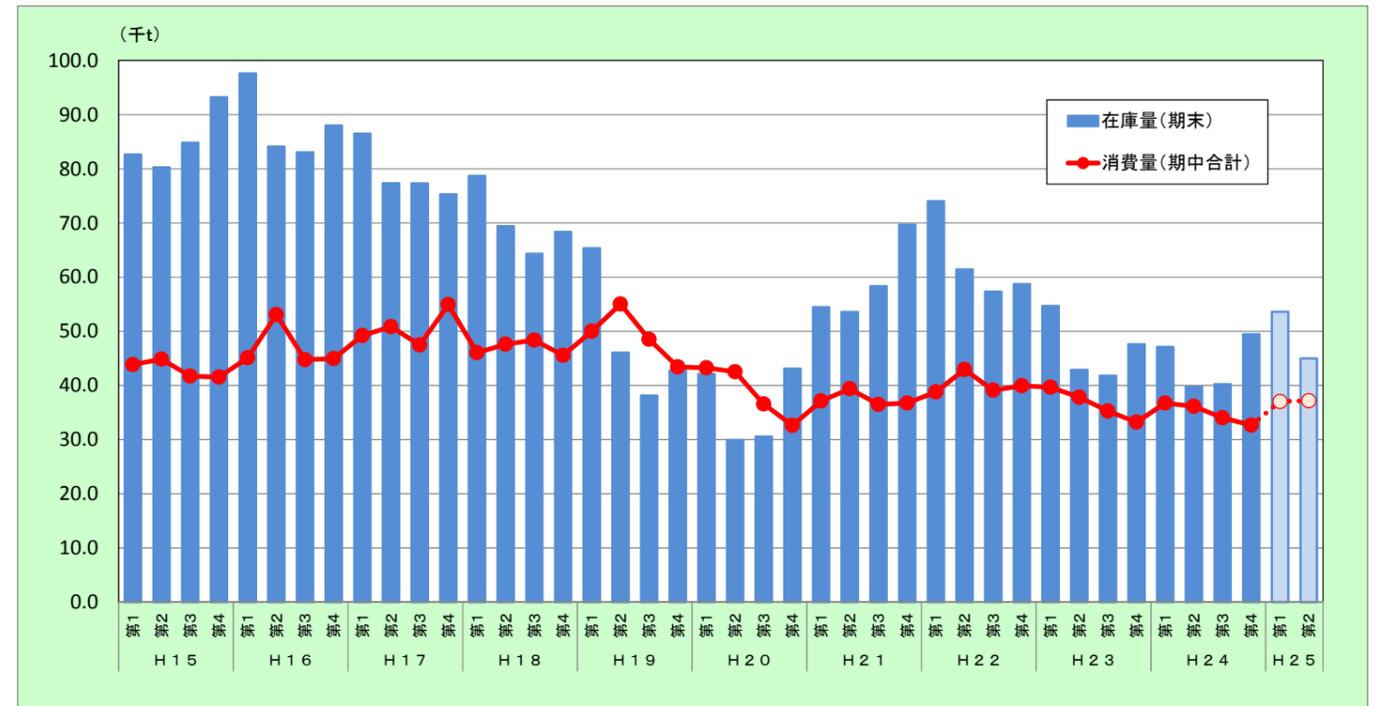
【特定乳製品（脱脂粉乳・バター）需給の見通し】

脱脂粉乳については、今後、25年度のカレントアクセス分輸入数量として上期中に5千トンが売り渡される予定となっていることもあり、前年度を上回る在庫水準で推移するものと見込まれ、25年度上期末における在庫量は45.0千トン（3.9か月分）と見込まれる。

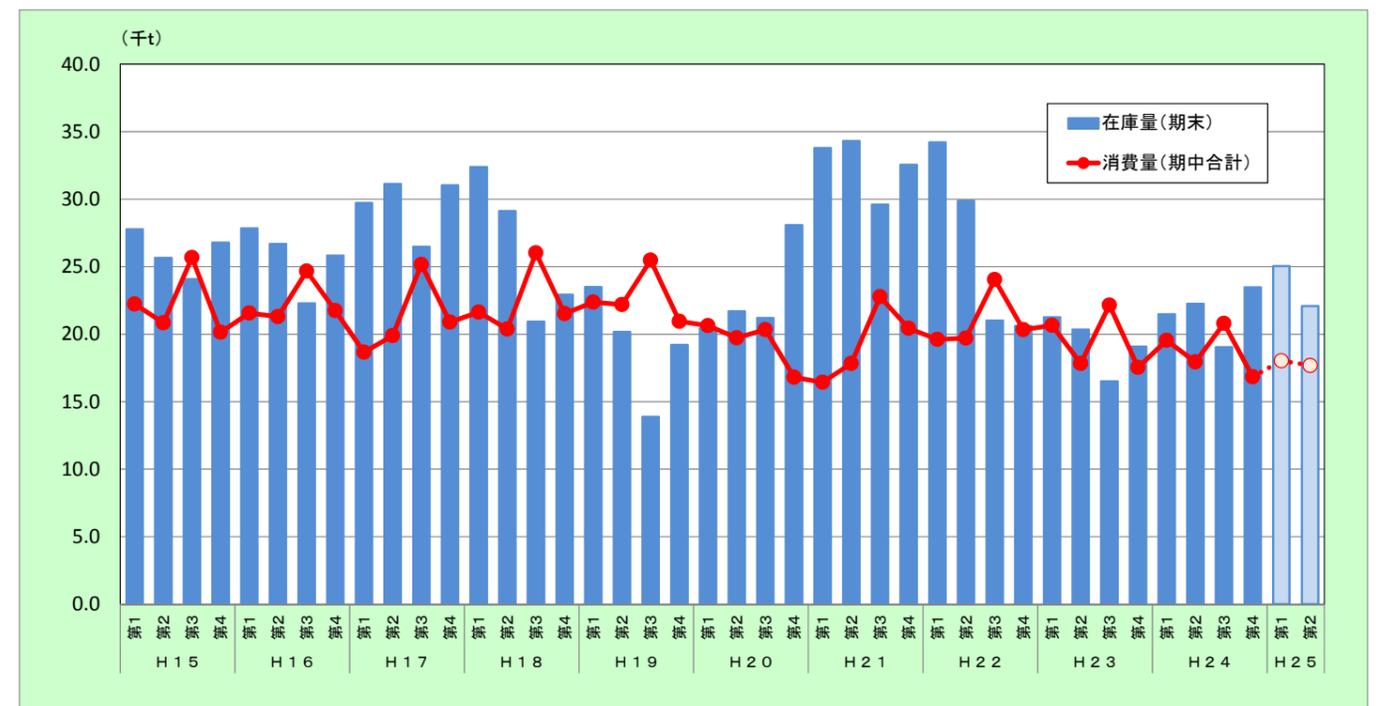
バターについても、24年度において追加輸入も含めて9.4千トンの輸入が行われたことから、今後8月までは前年度を上回る在庫水準で推移するものと見込まれ、25年度上期末における在庫量は22.1千トン（3.5か月分）と見込まれる。

なお、特定乳製品需給は、生乳供給量や牛乳等需要の動向に生産量が大きく左右されるとともに、需要量についても調製品を含めた海外市場や国内外の景気動向等の影響を強く受けることから、今後も酪農乳業関係者全体でその動向を注視していくとともに、適切な対応を図っていくことが求められる。

グラフ5-1：脱脂粉乳の消費量及び在庫量（四半期毎）



グラフ6-1：バターの消費量及び在庫量（四半期毎）



## 6. 当面する課題と対応について

### (1) 牛乳乳製品需要の拡大への取り組み

25年度の牛乳等需要は、はっ酵乳は引き続き好調な推移が見込まれるものの、全体的には減少基調で推移する見込みであり、乳製品需要についても、前年度と同程度かやや下回る程度の水準での推移が見込まれている。

こうした状況を踏まえ、酪農乳業関係者は、需要減退を生じさせないよう市場への安定供給に努めるとともに、これまで以上に業界全体で牛乳乳製品需要の拡大を推進していく必要がある。

### (2) 夏季の需要期に向けた生乳生産量確保のための取り組み

25年度は都府県において生乳生産量が前年度を下回って推移するものと見込まれる。引き続き、業界全体で将来を見据えた生乳生産基盤の維持強化に努めるとともに、これから夏季を迎えるにあたっては特に、暑熱対策や飼養管理対策の徹底等により、生乳生産量の低下を最小限に留める対策に努めることが重要である。

### (3) 的確な需給調整対応の実施

生乳生産量及び牛乳等需要は、気温や天候によっても大きく変動する可能性があること等から、酪農乳業関係者は、日々の需給動向に注視するとともに情報の共有化に努め、特に夏季の飲用需要期における広域生乳の需給調整が円滑に行われるよう、木目細かい対応を行っていく必要がある。